

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	津山総合体育館		所在地	津山市山北669	
敷地面積	49,000.00 m ²		棟数	1 棟 (計画記載対象 1 棟)	
延床面積	5,821.97 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	スポーツを通じて県民の心身の健全な発達を図るために設置。				
【想定される自然災害】					
予想震度	5弱	津波	—	浸水	—
建築規制	非線引き都市計画区域 第2種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200% 近隣商業地域 建ぺい率80%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 215,333 kWh	ガス 23 m ³	水道 1,239 m ³	燃料 (—) — 0	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 敷地はすべて市有地 津山市指定緊急・指定避難場所				

1 施設内建物の概況

名称	体育館棟	
築年(西暦)	1976 年	
構造	鉄筋コンクリート造 3 階	
建築面積	3,290.76 m ²	
延床面積	5,821.97 m ²	
主要な用途 (室名等)	アリーナ・柔剣道場 トレーニング室 事務室	
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 音響設備 照明設備	
利用状況	高	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適
	中性化 ※3	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

設備等の更新、修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
体育館棟	設備等について、順次更新等を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

設備等について、順次更新等を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
体育館棟	設備等の大規模改修				外壁等改修 1						
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)			アリーナ強度補強	玄関前タイル修繕	舞台照明設備更新 舞台吊物設備修繕 照明LED化	火災報知設備更新 非常用発電設備更新 給排水設備更新 トイレ洋式化	会議室等空調機器更新	音響機器更新	観覧席イス更新	柔剣道場防水塗装
				柔剣道場空調機器更新							

4. 概算費用

総額 5億円(設備更新等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.1	設備等の定期更新(音響機器更新)のスケジュールを変更